

## 今週の株式相場見通し

- \* 日経平均 19,300~19,700円 TOPIX 1,580~1,625
- \* 期待材料 IoT社会の実現 IoT、AI活用による生産性改善
- \* 不安材料 地政学的リスク 中国経済の成長鈍化

地政学的リスクの高まりや米国政治混迷への警戒感から日米ともに株価は軟調な推移になっているが、今後の株価動向を予測する上で注目したいのは、緩やかな経済成長と低金利が共存し、株価が上昇しやすいゴルディロックス相場が継続するか否かにあると思われる。ゴルディロックス相場が崩れるには、長期金利が上昇するか、景気が減速するかの2パターンが考えられる。米国の長期金利は低下傾向が続いているものの、9月19~20日のFOMCで10月からの資産規模の縮小開始が発表されるものと思われ、10月に向けて米国の長期金利が上昇し、ドル高、米国株安が進む展開も想定される。ドル高により米国企業の業績見通しが悪化し、新興国市場などからの資金流出が発生し、世界的な株安、リスクオフの流れが起きようなら、円高、日本株安の展開が警戒される。また、米国では4~6月の家計の債務残高が過去最高を更新しており、長期金利が上昇してくるようだと米国経済にとって逆風になるものと思われ、米国景気減速懸念も高まることで株価が世界的に調整する展開も想定される。一方、米国の雇用市場は堅調に推移しており、7月の小売売上高は前月比での伸びが今年最大となり、アトランタ連銀のGDPNowによる7~9月期実質GDP成長率は、前期比年率3.8%増が見込まれているなど、米国経済は良好に推移している。低金利が続く現状においては、米国経済の動向を警戒する必要はないものと思われる。よって、長期金利が低位で安定的に推移している限りは、株価の下落は大きくはならず、調整局面は好業績銘柄へ投資する良い機会になるものと思われる。(8月24日現在、松本 直志)

## 今週の予定

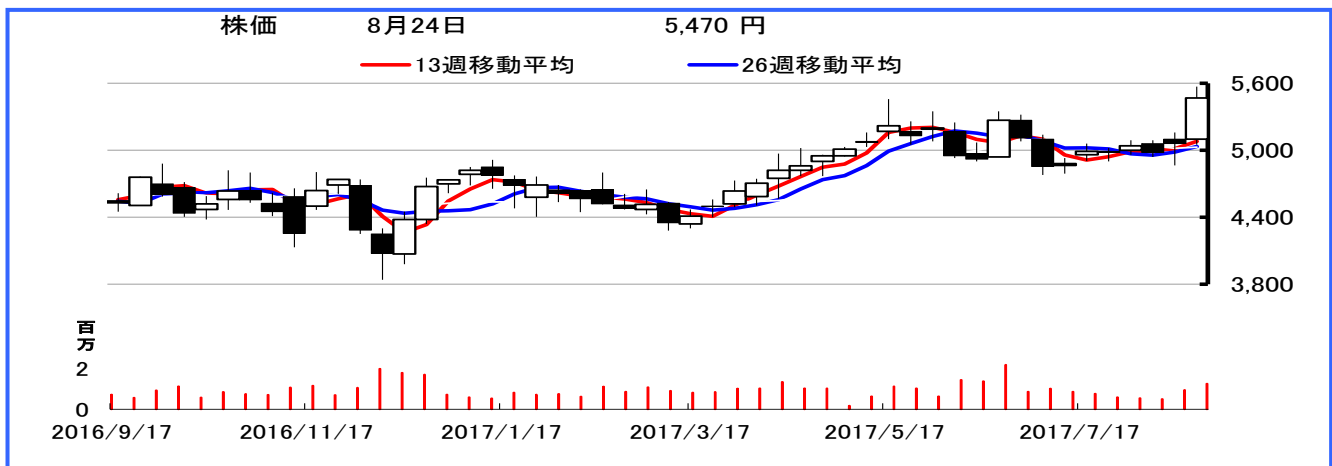
	国内	海外
8/28(月)	ジャパングジュエリーフェア2017(~30日)	TPP 首席交渉官会合(~30日)
29(火)	7月失業率(8:30) 7月の有効求人倍率(8:30) 7月の家計調査(8:30)	[米]6月S&PコアロジックCS住宅価格指数(22:00) [米]8月消費者信頼感指数(23:00)
30(水)	メイ英国首相来日(~9月1日) 東京インターナショナル・ギフトショー秋	[米]8月ADP雇用統計(21:15) [米]4~6月期GDP改定値(21:30)
31(木)	7月鉱工業生産(8:50) JPX日経400指数構成銘柄定期入替 政井日銀審議委員 愛媛県金融経済懇談会における挨拶	[中]8月製造業PMI(10:00) [中]8月非製造業PMI(10:00) [欧]8月消費者物価指数(18:00) [米]7月PCEコア(21:30)
9/1(金)	4~6月期法人企業統計(8:50) 民進党代表選 投開票 8月の新車販売台数 伊藤園(2593)1Q決算 ソニー、村田製作所への電池事業売却完了	[中]8月財新製造業PMI(10:45) [米]8月雇用統計(21:30) [米]8月ISM製造業景況指数(23:00) [米]8月の新車販売 第2回NAFTA再交渉会合(~5日)
2(土)	アマチュア無線フェスティバル(~3日)	ロシアW杯欧州予選スペイン対イタリア
3(日)	眞子さま、小室圭さんとの婚約内定を発表	EU農水相理事会 非公式会合(~5日)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄

### 朝日インテック (7747) 東証 2 部



	16年6月期		17年6月期		18年6月期(予)		株価(8/24)	5,470 円
	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	業種	精密機器
売上高	39,511	11.9%	42,709	8.1%	47,426	11.0%	売買単位	100 株
営業利益	10,002	25.4%	10,795	7.9%	12,135	12.4%	PER(予想)	41.0 倍
経常利益	9,521	13.4%	10,941	14.9%	12,170	11.2%	PBR(実績)	7.9 倍
当期純利益	6,907	18.5%	7,725	11.8%	8,599	11.3%	ROE(実績)	20.1 %
EPS(円)	109.2		121.7		133.4		配当利回り(予想)	0.6 %
配当金(円)	30.0		30.4		33.3		担当	多功 毅

出所：業績に関する数値は決算短信より

1976年に産業用途の極細ステンレスワイヤーロープの製造・販売会社としてスタート。その後、医療機器メーカーからの注文を機に医療分野へ進出し、92年に国内初の心筋梗塞治療用PTCA(経皮的冠動脈形成術)ガイドワイヤー及びガイディングカテーテルの製品化に成功。ワイヤー製造に関する長年の経験を基に素材から製品までの一貫生産体制を有し、製品性能について高い評価を得ており、PTCAガイドワイヤー市場において国内外で高いシェアを有している。

世界的に、長寿命化や食生活の欧米化によるコレステロールの過剰摂取等を背景に、心筋梗塞患者数が増加している。心筋梗塞の治療においては、外科的手術よりも患者にとって痛みが少なく、また、入院日数の軽減にもつながることで患者及び社会的な負担軽減に寄与するPTCAによる治療が拡大している。近年では循環器系でのPTCA治療に使われるバルーンカテーテルやガイディングカテーテル、貫通カテーテル等の新製品を投入することにより、PTCA治療領域における製品群の拡充を図ると共に、強みのワイヤー加工技術を用いて末梢血管、腹部血管、脳血管系の領域においても新製品の開発、投入を積極化させている。

タイの製造拠点が洪水の影響を大きく受けた12年6月期こそ業績が落ち込んだが、当該期を除くと右肩上がりの業績拡大が継続している。11年6月期との対比においては、前期業績は売上高で2.7倍、営業利益で3.3倍となった。今後も、グローバル展開の加速と対象治療領域の拡大を背景とした業績拡大が継続するものと思われ、注目している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(8/24) 売買単位	コメント
<b>アライド アーキテックス</b> (6081) 東証マザーズ 1,072円 100株	上期決算は前年同期比 15.2%増収も、事業拡大のため先行投資を実施したことで、営業利益は赤字転落。SNS マーケティングに対する企業の関心の高まりにより、国内 SNS マーケティング事業は前年同期比 2 割程度増収。案件が大型化しリードタイムが長期化している。広告配信最適化プラットフォームの「ReFUEL4」は、リニューアル実施に注力したことで 16 年度下期比売上が減少。今までは 50 社程の大企業向けに事業を行っていたが、米国、フィリピンに新規営業拠点を設立し、中小企業にも販売先を伸ばし、世界中で顧客開拓を進める方針。(松本 直志)
<b>アンリツ</b> (6754) 東証 1 部 851円 100株	1Q 決算は前年同期比 4.2%減収、1.62 億円の営業赤字に転落。中国でスマートフォンの販売台数が減少し、通信計測器の需要が低下。北米では LTE から 5G への投資端境期に伴い、基地局関連投資が想定以上に冷え込み、計測事業が赤字転落。LTE 向け計測事業の厳しい事業環境はしばらく続く見込みだが、4Q から 5G 向け計測器需要の立ち上がりを見込み、通期計画は据え置き。5G 向け計測器の需要立ち上がりに伴い、業績反転が期待される。(松本 直志)
<b>マツダ</b> (7261) 東証 1 部 1,592.0円 100株	1Q 決算は、北米の乗用車セグメントを中心とした販売台数の減少や研究開発費の増加の影響により、前年比 23.9%営業減益での着地だが、想定対比での円安効果が寄与したことで通期計画に対する進捗率は 26.6%と堅調なスタート。会社側は、現状の為替水準で推移した場合、通期で 200 億円程度の営業利益の上ブレ要因となるとする一方で、北米を中心に販売環境が不透明感を強めていることを今後のリスク要因とし、期初公表の通期業績計画については据え置き。(多功 毅)
<b>SUBARU</b> (7270) 東証 1 部 3,884円 100株	1Q 決算は、米国においては販売インセンティブの増加があったが、市場の減速感が顕著となる中でも引き続き力強い販売を維持。国内についても登録車中心に販売が好調に推移しており、前年同期比 11.1%増収、17.5%営業増益で着地。利益率、進捗率とも高水準の 1Q 決算であったが、2Q 以降に償却費、研究開発費等の固定費の増加が見込まれることもあり、通期計画については期初公表の同 2.8%増収、0.2%営業減益予想を据え置いている。(多功 毅)
<b>三菱商事</b> (8058) 東証 1 部 2,477.0円 100株	1Q 決算は、一過性の利益及び損失計上による影響額が前年比で大きな減益要因となったが、豪州石炭事業における価格上昇効果や非資源事業も堅調な業績推移となったことにより、前年比 16.8%純利増益。通期純利益計画の 4,500 億円に対する進捗率も 26.2%と堅調なスタート。原料炭価格前提は、現状の水準よりも保守的な織り込みとなっているもようであり、また、大型の減損計上も一巡していることを踏まえると、通期計画達成の確度は高いものと思われる。(多功 毅)
<b>ビジョン</b> (9416) 東証 1 部 2,470円 100株	上期決算は前年同期比 20.1%増収、52.3%営業増益。売上、利益ともに過去最高となり会社計画も超過達成。出張等の法人需要の取り込み、レポート利用者の積み上げが進み、Wi-Fi ルーターレンタルを行うグローバル Wi-Fi 事業が、前年同期比 36.1%増収、84.5%営業増益と好調。クラウド上で SIM を管理する次世代ルーターの投入で、出荷費用が効率化され原価率、販売管理費率が改善している。通期計画に対する進捗は順調だが、3Q が繁忙期になるため、テロやパンデミックなどを警戒し通期計画は据え置き。(松本 直志)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%（ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円）の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室